

畜産試験場だより

岡山県養鶏試験場

最近の動きをお知らせするために、主として近頃行なわれた行事などについて紹介します。

◎中、四国ブロック特技普及員（畜産）

予定者の研修会開催

農林省振興局の指示によって行なわれる中、四国の特技普及員 44 名の研修会養鶏部門が、会場を会場として去る 8 月 4 日から 4 日間、次のとおり開催されました。なお岡山県からの参加は 11 名でした。

8 月 4 日育雛

鶏の衛生

育種

8 月 5 日飼養

鶏卵の消費流通

種鶏の選定

8 月 6 日駄鶏の見分け方

アメリカにおける畜産

8 月 7 日養鶏施設管理

養鶏経営

衛生及び解体実習

◎高等学校生徒夏期実習終る

毎年岡山県高等学校教育協会からの要請によって夏休みを利用して行なわれる高校生の夏期実習が、本年も高松、美星、興陽、宇治、竹荘各高校から 18 名が参加して、8 月 9 日から 19 日までの 11 日間にわたり実施されました。

この期間中は、鶏の管理実習のほか、毎日 2 時間程度の講義を受け、新しい養鶏技術について、若人らしく終始熱心に勉強しました。

◎種鶏改良研究会の開催

昭和 35 年度第 3 回種鶏改良研究会が 8 月 25 日、会場講堂で研究会員 60 名、研究会顧問 4 名、県関係

者などが参加して開かれました。

研究会員は、県下の孵卵場、種鶏場やその他の育種・改良に熱心な養鶏家で構成されていますが、この研究会では次のような連絡や、研究が行なわれました。

- 1、昭和 34 年度集合検定成績中間報告
- 2、昭和 35 年度集合検定鶏受入計画
- 3、昭和 33 年度集合検定出品鶏作者の体験発表
- 4、鶏の人工授精について
- 5、住血原虫症、ケージ鶏舎、養鶏の共同化等について

◎農協養鶏技術員講習会の開催

去る 8 月 29 日、30 日の両日、当場で県経済連の主催で、農協養鶏専任技術員の講習会が次の日程で開催されました。

これは、同連が近代化を実施した農協で、集団養鶏を推進しようと計画している単協に設置している技術員に対しての新しい養鶏経営技術と養豚経営についての講習会で、技術員 10 名が参加しました。

8 月 29 日

養鶏の共同化と鶏卵の共販態勢

駄鶏淘汰と養鶏経営

立体管理と平飼管理

体験発表とスライド映写

30 日

場内見学

ブロイラー養鶏

新しい養鶏技術

養豚経営

畜産行政

◎全購連主催技術員講習会開催予定

全購連大阪支所管内中国 6 県の駐在技術員 30 名の

岡山畜産便り 1960.09

技術研修が、来る9月19日から10月3日までの15日間実施される予定になっています。

◎鉄骨ケージ舎並びに大雛成鶏群飼ケージ完成

ケージ飼育の普及にともないケージによる飼養管理試験が必要となりましたので、次のとおりモデル鉄骨ケージ舎を設置し直ちに試験を開始しました。

鉄骨ケージ舎（自動給餌器付）

1棟約 50 平方米

群飼ケージ舎 1棟約 28 平方米

昭和 35 年度集合検定鶏の受入について

岡山県養鶏試験場

当场では本年11月1日から実施する鶏産卵能力集合検定鶏の出品申請を県下種鶏家から取りまとめていましたが、申請期日の9月1日までに単冠白色レグホーン種44件、横斑プリマスロック種5件、ニューハンプシャー種2件、ロードアイランドレッド種1件、計52件の申請がありました。

これの個体検査、衛生検査は本年は家畜保健衛生所に依頼して9月25日から10月5日までの間に実施していただくことにしています。当场の受入れ可能件数は40件でありますから、各家畜保健衛生所の検査結果と当场が行なう育成状況調査等により約40件を10月15日までに、選抜する予定です。

選抜された合格鶏についての養鶏試験場搬入は、1件につき20羽とし10月21日から10月23日の3日間に亘り行ないます。（搬入と同時に20羽の内15羽を選抜、11月末日に10羽を選抜）

搬入から10月末日までの約10日間は、当场の環境、飼養管理に馴致させるための予備期間として11月1日から検定が開始されることとなります。なお現実実施している昭和34年度分は、10月15日で350日検定を終了することとなります。